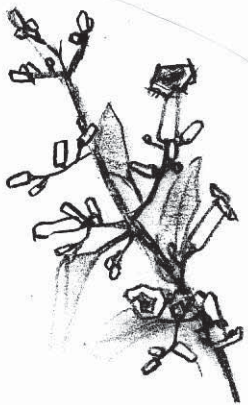




■特集 ■ シリーズ 図書館利用者のニーズを掘り起こす 1

他の図書館友の会会報から学ぶ



けやきでは今年度の活動テーマを「図書館利用者の潜在的なニーズを掘り起こす」とし、利用者ならではの視点から考えて行きます。ニュースレターでも3回に亘ってこのテーマを取り上げます。

今回は、他の図書館の友の会会報とホームページから、そこで行われている活動や要望を紹介します。京都市図書館で、埋もれたニーズを掘り起こすにはどんな働きかけをしたらよいか。あなたの周りにも、埋もれたニーズはありませんか？

思いは同じ、よそさんは
こんなことをしています 願っています

今年度けやきは、「図書館利用者の潜在的なニーズを掘り起こす」をテーマとして活動することになった。図書館がもっとも我々の生活に根付いてくれることを願って、まだ十分に図書館を利用するに至っていない人たちの思いを、図書館に届けたい。「こうすればそれらのニーズを持つ人たちの図書館利用に繋がるのではないか」と感じた点を、友の会の立場から提案して行けたら、と思っている。

折しも7月11日に京都市子ども文庫連絡会主催の連続学習会「図書館を学ぼう」の第1回が開かれ、

「京都市の図書館 あゆみと今」と題して京都市中央図書館担当課長の古野勝治氏が話された。京都市の図書館人の前向きな姿勢と熱意が感じられるお話を聞くことが出来、とてもうれしく思った。

中でも、京都市図書館の四半世紀の歩みを振り返り「市民の図書館登録率（登録者数÷人口）は、当初の5%から年々増加し平成18年度には20.5%に伸びたが、それでもまだ市民100万人が利用していないの

は図書館としておおきな課題と感じている。」と話されたのが印象に残った。

友の会は、利用者の裾野を広げるために、図書館と力を合わせどんなことが出来るだろうか？会報やインターネットのホームページ（HP）を通して他の図書館友の会の活動から学んでみたい。ここでは、それらの中から主にまだけやきが行っていない活動をいくつか紹介する。

●廃棄本のリサイクル

多くの図書館友の会の活動として目についたのが、図書館の廃棄本のリサイクルに関わるものである。一冊一冊の本にスタンプを押したりシールを貼ったりの作業からリサイクル市のスタッフまで友の会が様々な形で協力し、この活動は多くの図書館で取り組まれているようだ。定期的リサイクル市を開くケースだけでなく、図書館入り口に設置した専用の本棚に並べられたリサイクル本を自由に持ち

帰る方法をとっている館もある。けやきとしては以前ニュースレター9号（2002年2月）で大阪市立中央図書館の本のバザールを取り上げ、京都市図書館でのリサイクル市の実施を提案したが、当時より、財政的にもまたゴミ減量や環境問題の観点からも、その実施の意義はいつそう増しているのではないだろうか。

◇「萌からの通信」（大阪府茨木市）、「航海日誌」（愛知県碧南市）、愛知県瀬戸市*、東京都小平市*、千葉県市川市*、富士河口湖町立図書館*他

●公共図書館のレファレンスサービスについてのアンケートを実施

周辺の公共図書館20館のレファレンスサービスの現状を、友の会による図書館へのアンケート調査をもとにHP上でも報告している。他の友の会やけやきでもレファレンスサービスの報知と充実を望む声が多い。

◇東京都小平市*

●友の会企画の読書会・学習会

大阪府の熊取図書館友の会では、「源氏物語を学ぶ会」や「歴史を学ぶ会」など住民企画の読書会が8講座開かれ、その参加者が新たな図書館利用者となっている。

◇「萌からの通信」（大阪府茨木市）

「図書館について学ぶ会」、「障害者サービス学習会」（障害を持つ利用者と社会福祉協議会、図書館の担当職員との懇談会を年2回程開催）、「声に出して本を読む会」などを開く。

◇東京都小平市*

●オリジナル図書館バッグの作成・販売

友の会がオリジナルデザインのおしゃれな図書館バッグを作成し、図書館に申し込み用紙を置いて予約販売している。図書館バッグは、図書館やボランティアが作成して無料や安価で配布しているところもある。また市町村によっては、ブックスタート運

動として全ての新生児に絵本と読書を勧めるリーフレットとともに図書館バッグを配布しているところもある。

◇「ささやま図書館友の会会報」（兵庫県篠山市）

●会報での本の紹介欄の充実

「友の会のニュースレターも、もっと本の情報を多数盛り込んだものにして欲しい」という声もある。

◇「くらしのなかに図書館を」（大阪府高槻市）

●バスツアー・文学歴史散歩

行き先は、日帰り出来る範囲の遠方であったり、地元の歴史散歩であったり、それぞれの友の会の地域性による。

◇石川県小松市*、大阪府岸和田市*、東京都東中野*

●館内飾り付け

これは、既にけやきで取り組んでいる活動だが、同様の活動をホームページで紹介しているところがあり、親近感を覚えた。

◇愛知県安城市*

その他以下は、友の会の会報で、図書館の取り組みを紹介したり友の会の要望として取り上げていたもので目についた項目。

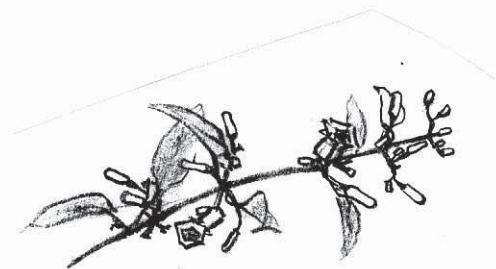
●視覚障がい者へのサービスとして音声パソコンの設置

◇「図書館とまちづくり」（奈良県）

●移動図書館がニュータウンで大人気

◇「萌からの通信」（大阪府茨木市）

●学校図書館との連携を進めるため、学校への団体



*印はインターネットの図書館・図書館友の会HPより

- 貸し出し制度の改善と学校図書館連絡車
- ◇「くらしのなかに図書館を」(大阪府高槻市)
- 図書館がボランティア研修講座後に司書を交えた参加者の交流会を組織
- ◇「図書館とまちづくり」(奈良県)

- レファレンスサービスの充実
- ◇「くらしのなかに図書館を」(大阪府高槻市)
- カラーコピー機の設置
- 雑誌について タイトル数を増やして欲しい。バックナンバーの扱い

(永井)

何をどうやって掘り起こす？



図書館利用者の埋もれたニーズを掘り起こす、という取り組みは、昨年の年間活動テーマ「多様なニーズに応える図書館」から発展したものです。けやきでは今まで利用者としての視点と、市民ならではのネットワークを生かした横断的な視点で、様々なニーズを図書館に伝えてきましたが、今年度は利用者自身も気づかないニーズや、声にならない声をぜひ発掘したいと活動テーマにしたのです。

今回の他の図書館友の会の取り組みや要望を見て、こんなことができるのなら、けやきでも、また京都市図書館でも、と思われた方も多いのではないのでしょうか。

一方、なかなか当事者から声にならない声、として中高生の図書館利用があります。もっと図書館や友の会から中高生に働きかけができないだろうか？ さらに京都市図書館の移動図書館サービスなど、利用する人以外にはあまり知られていない運営の現状の中にも様々なニーズが埋もれ

ているのでは？他にもどこにどんなニーズ埋もれているのだろうか？そんな思いがけやきのメンバーの中で起きています。そこで、

- ・こんな事情で、図書館に行きにくい
- ・こういう立場の人に図書館サービスが届きにくい
- ・図書館をもっと生活に身近にするには

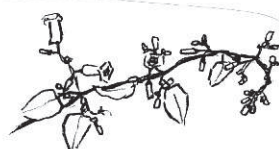
そんな思いやアイデアをお持ちの方、ぜひけやき事務局に声をお届け下さい。

また今回の特集で紹介した廃棄本のリサイクルなどについても、あったらいいのに、やりたい、と関心をもたれた方、ぜひご連絡ください。一度には無理でも、少しずつ、ご一緒に取り組んでいければと思います。(連絡先は6頁に掲載)。(島崎)



けやきの活動 07年3月～07年7月

- 3/19 ニュースレターNo.24印刷・発送
- 3/24 絵本コーナーの飾りを作る会
- 4/2 ポーランド絵本展示会についての会議
- 4/28 子ども読書の日記念おたのしみ会
- 5/14 活動報告等印刷・発送
- 5/中旬～ 総会・懇談会準備
- 5/下旬～ ニュースレターNo.25原稿作成・編集



- 6/4 第9回定期総会、図書館懇談会
- 6/4 左京区ボランティア連絡会に出席
- 6/15 第22回映画上映会
- 6/23 絵本コーナーの飾りを作る会

- ・3/24.5/26.6/23 (第4土曜) 図書館おたのしみ会に協力
- ・3/23..4/27. 5/25. 6/29.7/20 絵本学習会
- ・3/1.8.15.22.29 4/5.12.19.26 5/3.10.17.24.31 6/7.14.21.28 7/5.12.19 (毎週木曜10:30-12:00) 絵本コーナーで‘あかちゃんに絵本を’サポーター
- ・3/5.4/2.5/7.28.7/2 (第1月曜) 事務局会議・図書館とのミーティング

※ 他団体会議には事務局有志が参加

今年で3回目となる、図書館とけやき懇談会には、4月に赴任された大見館長と高井司書が出席して下さいました。

最初に大見館長から平成19年度事業内容(案)が提示されました。続いて、中高生の利用状況に関してけやき会員から質問が出され、高井司書から次のような現状説明がありました。"左京図書館へ来館する利用者は小学校高学年から徐々に減ってくる。しかも土・日で保護者同伴の場合が多く、中高生はもともと利用の少なくなる年代である"とのこと。事業内容(案)を見ても、「おたのしみ会」、「赤ちゃん絵本の読み聞かせ」など幼児や小学校低学年の子供が楽しめる行事はあっても、小学校高学年以上の青少年が参加できる行事はありません。中高生の読書離れは、けやき会員の中でも問題視している者も多く、今後、課題としていかなければならないと考えているところでした。中学生への取り組みとしては、各中学校の図書委員が推薦図書を選び、校内で広報を行っていますが、その情報を図書館で紹介してはどうか、という提案がなされました。図書館・けやき共に問題としていたテーマが取り上げられたことで最初の緊張も解け、発言も活発になったように思われます。

次に、『ステラ』(NHK出版、ラジオ・テレビの情報誌)の購入希望が昨年引き続きけやき会員からありました。中央図書館にも個人として直接要望したが、以前からの返答に全く変化がないとのこと。希望は、"このような情報誌は、その時期が過ぎれば各家庭に置いておく必要のないものだ。皆が利用できて、しかも時期的な本こそ公共図書館に置くべきではないか"というものです。それに対して左京図書館長から、雑誌の新たな購入は今のところ難しいという主旨の説明がありました。

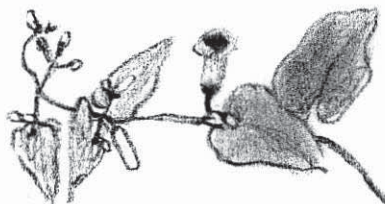
雑誌の問題が取り上げられたことを受けて、子供向けの『こどものとも』、『かがくのとも』、『たぐさんのふしぎ』は、ある一定時期が過ぎたら廃棄処分となる雑誌扱いではなく、図書扱いにならないものかと

いう発言がけやき会員からなされました。この2誌は雑誌として出版されるものの、中には傑作集としてハードカバーで出版されるものもあります。しかし、傑作集として残らないものは二度と手に入れることはできません。"それらの消え去ったものの中には、どの時代の子供にも触れさせたい良書も多い"という声が、子ども文庫にかかわっている一部の会員から上がっています。今、出版界では売れる本は増刷を重ね、売れない本は絶版となるものも多くあります。しかし、売れる本だけが良書とは限りません。特に子供の本は、「絵本を見る」から「文字を読む」、そしてそこに「思考、思索が加わる」という人間形成に大切な役割を果たすものです。先に挙げた2誌などを読んで親となった大人が自分の子供にも同じ本に触れさせたいと思うこともあるのでしょう。そのような意味もあって、『こどものとも』や『かがくのとも』などは雑誌扱いではなく図書扱いにして欲しい"という要望が出るものと思われる。

私達市民が市の図書館行政に声を届けることのできる場として、図書館懇談会に期待をしたい、との思いを強く感じました。(増井)

けやき総会開催

図書館懇談会に先立って、2007年度けやき総会が開催。活動報告、会計報告に続き、本年度の予算、活動計画及び活動方針「図書館利用者のニーズを掘り起こす」が承認されました。



TOPICS

どうぞよろしく 左京図書館大見館長さんより

4月に新しく左京図書館に大見敏之館長が着任されました。
けやきにメッセージを頂きました。

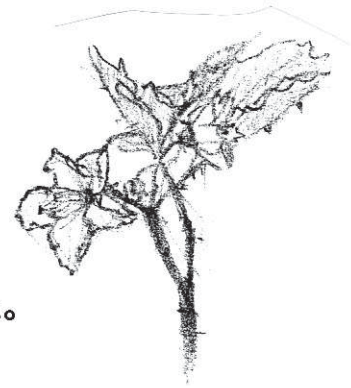
今年の4月1日付けで、左京図書館長に就任しました大見敏之と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、左京図書館は昭和56年4月に京都市で最も古い地域図書館の一つとして開館し、平成11年5月の新築移転時には、地域の方々の声を生かして、児童書や絵本コーナーを充実しました。特に絵本コーナーでは、毎週木曜日午前中に赤ちゃん絵本の読み聞かせや、毎月第4土曜日のおたのしみ会などを、「けやき」の皆様の全面的なご支援を頂いて行ってきました。また、赤ちゃん絵本を独立させた移動式書架「えーほん ねえ、よんで!」を設置するなど、「赤ちゃんにやさしい図書館づくり」を心がけてきた結果、今年度の子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞することが

できましたが、これも、皆様方の長年のご支援、ご協力の賜物と考えております。

一方、平成12年5月には夜間、祝日開館を地域図書館で初めて実施し、また、平成14年10月の京都市各図書館を結ぶネットワークサービスの開始、平成18年1月のインターネット予約の開始など、「利用者にとって、使いやすく、居心地のいい図書館づくり」を進めてきました。これからも、地域での生涯学習の拠点として、情報発信や交流の場となるよう、皆様の役に立つ図書館を目指して参ります。

今後とも、身近な学びと交流の生涯学習の場として気軽にご利用頂ける図書館を目指して取り組んで参りますので、従来にも増して一層のお力添えを頂きますようお願いいたします。



けやきの 本棚 25

わたしの
おすすめの本

晴れた日は

図書館へいこう

緑川聖司作 宮嶋康子絵
小峰書店 03年

私は、晴れの日以外で元氣よく遊ぶのも好きだけど、ひだまりの中で本を読むのも好きです。このお話は、本の好きな女の子がクラスメイトと、図書館でおこる事件を解決します。

「言葉は便利で、不便なものです。なんでも伝えることができるし、何もつたえられないことでもあります。理解も、誤解も、言葉から生まれるのです。」という文章が心に残りました。(大道未朋さん・小学5年生)

比類なきジューヴス

P・G・ウッドハウス著
国書刊行会 05年

お調子者のパーティーと彼の執事ジューヴスの繰り広げることだばた劇です。事件が起こ

ると最初はパーティーが解決しようとするのですが最後はジューヴスのおかげで全て丸く収まります。全シリーズでこのお決まりのパターンが展開されますがそれが癖になるかもしれませんよ。

(Mさん・左京図書館)

都江堰と

創建者李冰父子

覚え書 中国古代の水利施設
田中穰二著
光陽出版社 01年

都江堰とは今からおおよそ2500年前に作られ、今も機能し続けている中国の巨大な水利施設のことです。この本はA5版、87頁という小冊子ですが、こんな昔の人々がいかに自然や地形の力を利用し、自然と共存・調和する治水を行ってきたかを教えてくれます。それにくらべ現在の日本はムダでお金のかかる公共事業を行いゼネコンを喜ばせています。しかし、日本でも吉野川の固定堰など優れた治水対策を見ることができ、そうしたことも触れています。(会員T・下鴨)

秋・冬にはこんな行事も！ みんなで内容豊かなものにつくって行きましょう！

左京南支部小学校読み聞かせ交流会

今年度の日程が決定。

11月2・9・11日（いずれも金曜日）の午前中開催です。詳細は図書館より小学校を通して連絡がありますが、小学校で絵本の読み語り等の活動をされているみなさん、今年度もふるってご参加ください。また、内容について要望等ありましたら、けやきまでお知らせください。

ポーランド絵本の展示会

左京図書館とけやきの共催行事として、来年1月にけやき会員の方が所蔵されているものを中心にポーランドの絵本の展示会を開きます。左京図書館のすぐ近くにお住まいのポーランド人留学生の方の協力も得て、原語で絵本を読んでいただくおはなし会の開催など、子どももおとなも楽しめる企画を検討中です。「こんなこともできるよ」みなさんが手を挙げて下さるのをお待ちしております。

けやき情報板

絵本学習会

日時：9/28(金) 午前10時～12時

(学期末等以外は毎月第4金曜日です)

場所：左京図書館の上階、3階小会議室

6月から長新太の作品をじっくり時間をかけて読みあっています。新しい仲間も増えました。どしどしご参加ください。

また、タイムリーにも、京都でこの夏長新太展が開催されることになりましたので、お知らせします。8月15(水)～27(月)日、大丸ミュージアム京都(大丸京都店)にて。9月の学習会はこの話題で盛り上がるかも。

世界の絵本展 韓国絵本の魅力

日時：8月1日(水)～5日(日)

10時～17時 入場無料

場所：京都市国際交流会館2階展示室

主催：京都市国際交流協会図書・資料室

TEL075-752-1187

期間中毎日14:00～15:00、キム・ファンさんによるおはなしと読み聞かせがあります。会場で韓国絵本の販売もあり。

図書館友の会けやきの仲間になりませんか 知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ、
一人一人の世界を豊かにしてくれる場所。
それが私たちの願う図書館です。

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと「けやき」を作りました。図書館のスタッフとともに、左京図書館を支え、育てていきたいのです。

こんな活動をしています 一緒にしましょう

子どもたちに絵本を読んだり、人形劇やおはなしも。
赤ちゃんの本選びのお手伝いや絵本についての相談も。
映画上映会など左京図書館の催しに協力したり、
「けやき」のテープ録音や、絵本コーナーの壁面を飾る作品を作ったり。
図書館の現状を調べたり、提案も。 ニュースレター「けやき」を発行。

ぜひあなたの思いを形にして

図書館友の会「けやき」の仲間になってください。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方
TEL/FAK 075-721-2625
郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番
口座名称 図書館友の会 けやき

年会費はニュースレターの印刷および郵送費の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎します。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

も公利そらはんき代 ーらキ▽更ネ時けレき併聞表ど▽
の共llく深なぶのロトン最にッ間込フませきすも旅
で図知格な刻浮り我ス耳グ近詳ト的もアして取歌た先
す書の差っ。つをがトにブ ーしでにうレた知れ詞ちの
。館力なて明い見子せしア格く大果カン。りずのが
ををくいるた聞及ネま ー差調凡たトスそた、豊歌祭
活保誰るい言きびレすな社べはせ思カのいおかうり
用障に若未葉し友 ーがる会た知ずいウ地気祭な民で
ししでい来以て人シ、言 ーいれ。まんの持り意謡耳
てても世を上いたヨ実葉や：まいシタ図がの味。に
(欲く知代描にるちん際を ー(しんた ー書わ由が方し
りしれるにき現との ーにやワき)たタがに館い来よ言た
)いる権こづ実そ働世 た ー)が ー 駆のてとくが子

編集後記

◇けやき 第25号 2007年7月26日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部

題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん
カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101 永井方
TEL/FAX 075-721-2625